

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/3)

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科	職名	教授	氏名	ミ 三	ウラ 浦	キヨシ 潔
学歴	昭和50年 3月 京都大学経済学部経済学科卒業 昭和58年 5月 米国コーネル大学ビジネス・スクール修了						
学位	昭和58年 5月 Master of Business and Public Administration, Cornell University (MBA取得)						
専門分野	国際金融、海外直接投資、国際通貨問題、外国為替						
専門資格	スタンダードCFO (日本CFO協会)						
所属学会	平成11年10月 日本金融学会会員						
受賞							
担当 授業科目	学 部 アジアの投資事情、企業論、企業研究、販売実務論、総合社会学入門 ・ 、総合社会学演習 ・ 、現代社会研究演習 ・ ・ ・ 、卒業論文、エクスターンシップ実習、現代社会実 習 - 4、プロジェクト科目						
論文指導	論文指導 (卒論 : 12 名)						
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数			
	現代社会研究演習	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験	春 ・ 秋	12名			
	<p>授業の概要： 日本を含む世界経済の現実の動向を研究する。日本経済の現状を説明できること、及びプレゼンテーション能力の修得も計る。11月開催の学園祭「指月祭」にて、研究成果を発表する。</p> <p>教育活動の振り返り</p> <p>1 教育活動の成果： 学園祭では、3チーム (各チーム4名) に分かれて研究テーマを決め、15分の発表と10分の質疑応答を行った。学生に加えて、普段あまり接触の無い教職員や学外の一般人を相手にしたプレゼンを経験することで、自信を得る面と不十分な点を認識したことが成果。</p> <p>今後の課題： ・ 発表を聞いてくれる人を多く集めることが容易ではない。 ・ 1回の発表で終わってしまうのではなく、テーマを更に深く研究して発表する機会を設けることが望ましい。</p>						
	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数			
	現代社会研究演習 ・	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験	春 ・ 秋	12名			
	<p>授業の概要： 社会人として備えるべき経済面・経営面での教養と知識を深めると共に、卒業研究を進めて卒業論文の作成に従事する。夏休み期間中にゼミ合宿を実施し、卒論作成の指導を行う。</p> <p>教育活動の振り返り</p> <p>2 教育活動の成果： ゼミ合宿では、卒論原稿の内容について1人ひとり発表させ、参加者全員で意見交換を行った。他者の視点からのコメントを聞くことで、自らの研究を客観的に見直すことができ、また、他者の研究方法を参考にできる。</p> <p>今後の課題： 平成27年度から就活スケジュールが変更になるため、夏休みにゼミ合宿を行う余裕を持てるかどうか心配。</p>						

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/3)

<p style="text-align: center;">F D 活 動 ・ 教 育 実 績</p>	<p>・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績</p> <p>平成26年10月30日 第1回FD講演会「京都文教大学の初年次教育を考える ジェネリック・スキルを育てるための科目間連携」、於：本学</p> <p>平成27年 1月24日 2014年度京都FDer塾「カリキュラム・デザインとは何か? ~一貫性のあるカリキュラム構築を目指して~」、於：キャンパスプラザ京都</p> <p>平成27年 2月18日 まちづくりミーティング「『地域が学生を育て、学生が地域を元気にする』地域連携活動の試み」、於：本学</p> <p>平成27年 2月19日 COC研修会「地域と広島の未来を協創する廣嶋修道大学の取り組み」、於：本学</p> <p>平成27年 2月26日 IR研修会「IRの概要と事例~中小規模大学が取り組むIRのあり方~」、於：本学</p> <p>平成27年2月28日~3月1日 (公財)大学コンソーシアム京都主催第20回FDフォーラム「学修支援を問う~何のために、何をどこまでやるべきか~」、於：同志社大学</p> <p>平成27年 3月 5日 第2回FD研修会「授業と評価をつなぐ為に ~ループリック評価入門~」、於：本学</p> <p>・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等</p> <p>平成26年 7月12日 大学間連携共同教育推進事業「産学公連携によるグローバル人材の育成と地域資格制度の開発」の本年度前期成果報告会「グローバル人材の可能性」にて、春学期科目「エクスターンシップ実習」の成果について、学生3名が発表した。</p>
<p>H26 年度 研究課題</p>	<p>1. 日本企業の海外直接投資： ・ 企業のグローバル戦略と海外直接投資の動向 ・ 途上国の直接投資受入環境の変化</p> <p>2. 国際通貨体制の課題と展望： ・ ウクライナ情勢を抱える欧州、日中韓の政治的不和を背景に持つ東南アジア、難航するTPP交渉などの要因が、国際通貨体制にどのように影響するかを調査する。</p>
<p>研究活動の概要 (平成二十六年(2014)年度の)</p>	<p>・ それぞれの課題について、新聞・雑誌・インターネット・内外の研究機関および国際機関によるレポートや報告書などから、関連する情報の収集に努めた。</p> <p>・ これらの課題に関する最新情報のソースとして、(財)海外投融資情報財団、および(財)国際通貨研究所を重視した。</p>
<p>平成二十六年(2014)年の主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <p>(論文)</p> <p>(学会報告、学会活動)</p> <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>(調査活動)</p> <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>(学内活動)</p> <p>総合社会学部長、大学運営会議委員、大学教学会議委員、自己点検・評価委員会委員、自己点検・評価 管理運営専門委員会委員、危機管理委員会委員、キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員、広報委員会委員、人事委員会委員、入試委員会委員、海外学術研究助成委員会委員、産業メンタルヘルス研究所運営会議委員、大学間連携共同教育推進事業委員会(地域資格)委員会委員、社会調査士資格連絡責任者</p>
<p>平成二十六年(2014)年度の社会における活動</p>	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託)</p> <p>・ (一財)宇治市霊園公社理事長「平23.4より」</p> <p>・ 公益財団法人大学コンソーシアム京都主催「インターンシップ・プログラム」チーフ・コーディネーター「平24.4より」</p> <p>・ 公益財団法人大学コンソーシアム京都主催「インターンシップ研究会」委員「平24.4より」</p> <p>・ 公益財団法人大学コンソーシアム京都主催「都市政策研究会」委員「平23.4より」</p> <p>(小中高との連携授業の講師)</p> <p>平成26年 4月 京都文教高等学校ALP「景気とは何か」、於：同校</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/3)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等	(著書)
	(論文)
	(学会報告、学会活動)
	(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)
	1. 「第15回FDフォーラム “学生の学びを支える つなぐFDの展開 ”」第3分科会コーディネーター、単独、平成22年3月、(財)大学コンソーシアム京都、同志社大学新町キャンパス
	(調査活動)
	(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)
	(学内活動)
	平成18年 4月 社会調査士委員会委員「平23.3まで」 平成20年 4月 特色GP委員会委員「平22.3まで」 教務委員会委員「平22.3まで」 人事委員会委員「現在に至る」 学科予算委員会委員「平24.3まで」 平成22年 4月 現代社会学科長「平25.3まで」 大学教学会議委員「現在に至る」 大学運営会議委員「現在に至る」 広報委員会委員「現在に至る」 自己点検・評価委員会委員「現在に至る」 自己点検・評価 管理運営専門委員会委員「現在に至る」 自己点検・評価 教育研究専門委員会委員「平26.3まで」 自己点検・評価 学生サービス専門委員会委員「平26.3まで」 危機管理委員会委員「現在に至る」 入試委員会委員「現在に至る」 産業メンタルヘルス研究所運営会議委員「現在に至る」 平成23年 4月 キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員「現在に至る」 社会調査士資格連絡責任者「現在に至る」 平成24年 4月 大学間連携委員会(現・大学間連携共同教育推進事業委員会)(地域資格)委員会委員(委員長「平26.3まで」)「現在に至る」 平成25年 4月 総合社会学科長「平26.3まで」 海外学術研究助成委員会委員「現在に至る」
	(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託)
平成18年 4月 (財)大学コンソーシアム京都主催「FDフォーラム」企画検討委員「平22.3まで」 平成20年 4月 (財)大学コンソーシアム京都(現・公益財団法人)主催「インターンシップ・プログラム」コーディネーター「平24.3まで」 平成23年 4月 1. (財)宇治市霊園公社(現・一般財団法人)理事長「現在に至る」 2. (財)大学コンソーシアム京都(現・公益財団法人)主催「都市政策研究会」委員「現在に至る」 平成24年 4月 1. 公益財団法人大学コンソーシアム京都主催「インターンシップ・プログラム」チーフ・コーディネーター「現在に至る」 2. 公益財団法人大学コンソーシアム京都主催「インターンシップ研究会」委員「現在に至る」	
(小中高との連携授業の講師)	
平成21年10月 京都文教高等学校模擬授業「景気とは何か?」、於:同校 平成23年 6月 京都文教高等学校模擬授業(3年生向け)「東日本大震災の経済的影響について」、於:同校 平成24年 7月 滋賀県立堅田高等学校模擬授業「人間の豊かさ、社会の豊かさについて考える」、於:京都文教大学 平成24年 8月 京都文教高等学校模擬授業「『豊かさ』とは何か?どのように計る?」、於:京都文教大学 平成25年 9月 京都文教高等学校ALP「経済・経営コースで学ぶこと」、於:同校	
平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動	